

平成23年2月吉日

理科ご担当先生



「手回し発電機使用に関するお願い」

平素はケニス製品をご愛顧頂き厚く御礼申し上げます。

さて、手回し発電機を使用したコンデンサ蓄電実験(小学校6年生 単元名「電気の利用」)において、手回し発電機内部のギアが欠けるという事例が発生しております。

これはコンデンサに蓄電する際、蓄電開始時は豆電球やモーター等に比べて抵抗が大きく、手回し発電機のハンドルが非常に重くなり、このとき、手回し発電機のハンドルを無理に回すと、内部のギアに大きな負担がかかるために起こる現象です。

コンデンサへの蓄電時は、下記の点に注意して、蓄電を行って頂きます様お願い致します。

【手回し発電機での蓄電時に関する注意事項】

1. 手回し発電機のハンドルを回す際に、発電機本体がブレない(動かない)ように正しくしっかり握って下さい。
2. 手回し発電機のハンドルは、力いっぱい速く回すのではなく、1～2回転/秒のスピードで回して下さい。
回転数の目安は下記動画をご参照ください。
「まめ電球とLEDのどちらが長くつくかをくらべよう」
http://www.kenis.co.jp/education/anima/anima/ani_017.wmv
3. 蓄電が進むにつれて、ハンドルが軽くなってきますが、回すスピードを速めず一定に保って下さい。

以上

【ギア交換手順】

1. 本体裏面3箇所のネジ(+)をドライバーで外して下さい。
2. カバー(黄色)を右方向にスライドさせながら持ち上げて下さい。
3. 破損したギアを交換し、逆の手順で組立てて下さい。
4. プラスチックパーツ①が軸受の溝にきちんとはまっていない場合は、カバーを閉めることができません。カバーが閉まらない場合は、確認して下さい。

